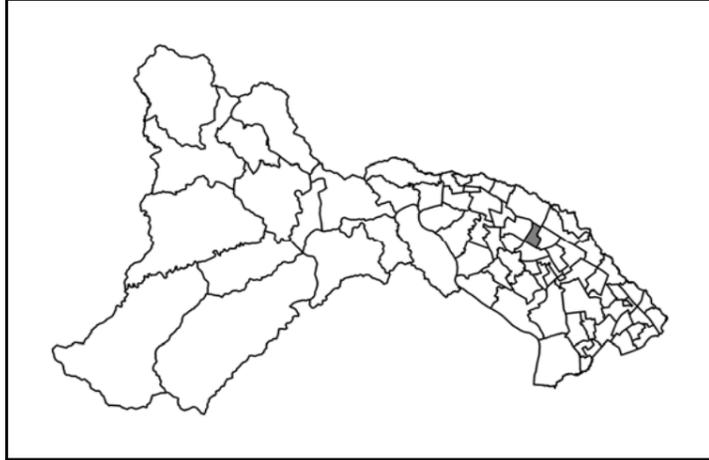


○地区を構成する町丁

【中央区】相模原5丁目・6丁目、中央2丁目・3丁目・6丁目、千代田1丁目、富士見1丁目・6丁目

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

中央(東第二,東第三,中央二丁目,中央三丁目,中央6丁目,千代田1丁目,富士見6丁目,モアステージ相模原富士見,五十和)

○地区概況

台地(上段)にあり、国道16号が地区のほぼ中央をやや斜めに横断する。北部と南部は主に住宅地、国道16号沿いには商業施設、業務施設が、その南側は主に公共施設が多い。北東をJR横浜線が通る。

○建物数・人口

建物		人口	
区分	棟数	区分	人口(人)
木造(昭和55年以前)	351 棟	0~4歳	346 人
木造(昭和56年以降)	493 棟	5~64歳	7,328 人
非木造(昭和55年以前)	108 棟	65歳以上	1,636 人
非木造(昭和56年以降)	493 棟	合計	9,310 人
合計	1,445 棟		

○所見

- ・幹線道路は広く、沿道の不燃化が進んでいるところが多い。
- ・公共施設、商業施設、業務施設が多数あり、利用者など昼間人口が多い。
- ・富士山の大規模噴火時には2~30cmの降灰が予測されており、その場合、道路・鉄道の通行不能をはじめ、停電や取水停止など重大な被害を受ける。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	相模原市役所, 中央区役所, けやき会館, 相模原市民会館, 総合学習センター, さがみはら市民活動サポートセンター, 環境情報センター, 相模原教育会館, 青少年相談センター, あじさい会館, ウェルネスさがみはら, 産業会館
警察署	相模原警察署
消防署	相模原市消防局, 相模原消防署
消防団詰所	女性分団
病院等	相模原中央病院, 相模原中央メディカルセンター
主な災害時要援護者施設	太陽の村 放課後クラブ 中央事業所, ねばーらんど相模原, ホープ, ムート相模原, レストヴィラ相模原中央, サニーデイ, コパン, グループホーム憩, キッチンハウス中央
幼稚園、保育園	星ヶ丘二葉園 分園
学校、大学	中央小学校, 中央中学校
避難所 ※洪水時避難所兼用	中央中学校, 中央小学校
洪水時避難所	
広域避難場所	
防災備蓄倉庫 ※広域避難場所対応	消防本部防災倉庫, 中央小学校, 中央中学校
臨時ヘリポート	

○地震被害予測結果

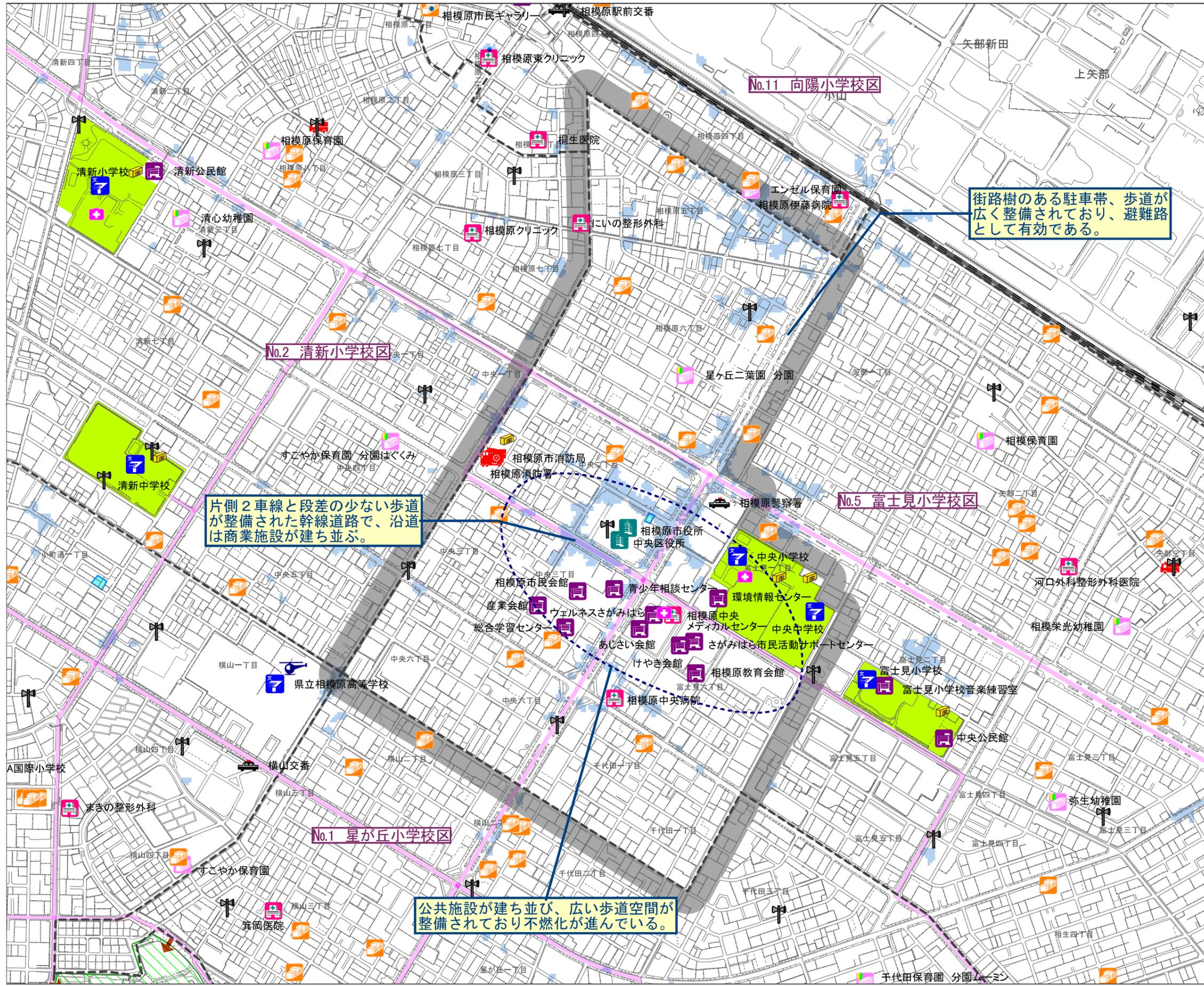
	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	72 棟	5.0 %	31 棟	2.1 %	7 棟	0.5 %
建物焼失	4 棟	0.2 %	1 棟	0.0 %	0 棟	0.0 %
死者	4 人	0.0 %	2 人	0.0 %	0 人	0.0 %
閉込者	35 人	0.4 %	15 人	0.2 %	4 人	0.0 %
重傷者	6 人	0.1 %	3 人	0.0 %	1 人	0.0 %
軽傷者	38 人	0.4 %	25 人	0.3 %	12 人	0.1 %
避難所避難者(当日)	261 人	2.8 %	128 人	1.4 %	44 人	0.5 %
避難所避難者(1週間後)	850 人	9.1 %	624 人	6.7 %	364 人	3.9 %

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	■□□□
土砂災害	■□□□
地震による地盤災害	■□□□
地震による建物被害、火災	■□□□

○近年の主な災害履歴

なし



凡例

防災関連施設等

	市役所、まちづくりセンター等
	公民館、主な公共施設等
	警察署、交番、駐在所
	消防署
	消防団詰所
	病院等
	主な災害時要援護者施設 幼稚園、保育園
	学校、大学
	避難所・洪水時避難所
	広域避難場所
	広域避難場所への車両進入可能箇所
	救護所
	防災備蓄倉庫
	ひばり放送塔
	雨水調整池
	臨時ヘリポート
	災害時協力井戸
	緊急輸送路
	小学校区境界
	地区自治会連合会境界

地形分類

	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

災害履歴

	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

災害危険箇所等

	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

書き込み欄

みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例: 浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)

